

福岡県社保協

Fax & Mail NEWS

2019.2.21 №.66

福岡県社会保障推進協議会

電話 092-483-0431
FAX 092-483-0435

違法、人権無視の差し押さえは許さない！ 「国保滞納・差し押さえ学習会」を開催

2月3日に中央社保協主催(西日本ブロック)で「国保滞納・差し押さえ学習会」が開催されました。福岡市のセンタービルで開催された学習会には111名が参加しました。2018年4月よりはじまった、「市町村国保の県単位化」が引き起こす問題点、強権的な差し押さえや滞納処分に対して、いま私たちに求められることを学習し、活動の交流を行いました。

筑紫女学園大学教授の池田和彦氏の講演では短期保険証、資格証明書発行数の急激な減少の裏に違法な差し押さえなどの制裁強化があると指摘、国保県単位化により、この方向が一層強まろうとしていると説明。

福岡南法律事務所弁護士の國嶋洋伸氏は、滞納処分から差し押えに至る具体的経過、差し押え禁止財産の内容、差し押えの問題点と対抗策、依拠すべき法的根拠と裁判事例などについて講演しました。



滞納処分対策全国会議事務局次長の仲道宗弘氏(司法書士)の講演では、鹿児島県垂水市で起きた児童扶養手当違法差押事件を例に、なぜ滞納処分が大幅に増加したのか、行政の対応上の問題点について報告しました。

大阪枚方社保協/枚方差押え問題対策会議の森田みち子氏は、対策会議結成が緊急・迅速な対応に結びつき、違法な差押え額変換にむすびついた2つの事例を報告しました。

福岡でも糸島市(福岡)での違法な年金差押え、福岡市南区での強権的な差押え、過酷化する滞納処分と強権徴収(福商連)の実態も報告されました。

国の社会保障切り捨て策で、憲法25条に保障された私たちの権利さえも侵害されようとしています。今回の学習会で得た成果を自治体との懇談やキャラバン行動に生かしていきましょう。

ご案内・福岡市南区社保協主催

「福岡市・社会保障に関するアンケート」分析会を開催します

2月27日(水)13:30~16:00 南市民センター2階研修室(※無料・どなたでも参加できます)